

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/06/11

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.76	-0.06
JPY/THB	0.2340	-0.0009
USD/JPY	157.04	0.29
EUR/THB	39.56	-0.23
EUR/USD	1.0765	-0.0036
USD/CNH	7.266	0.003
SGD/THB	27.16	-0.07
AUD/THB	24.29	0.07
USD/INR	83.51	0.13
USD Index	105.15	0.27

## Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.528	0.017
10Y (THB)	2.793	0.015
5Y (USD)	4.482	0.019
10Y (USD)	4.467	0.033

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,307.7	2.5
WTI (Oil)	77.74	2.21
Copper	9,899.0	136.5

## Stock

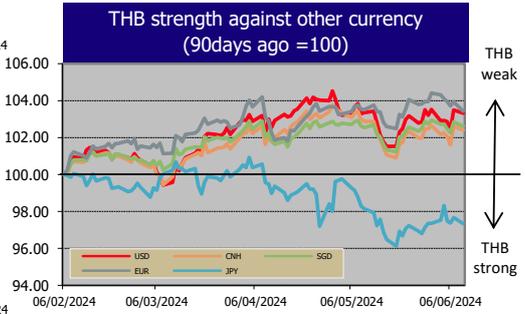
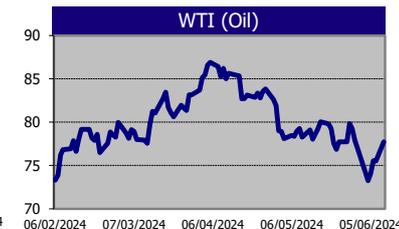
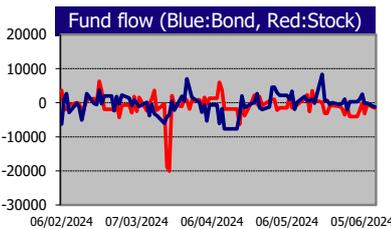
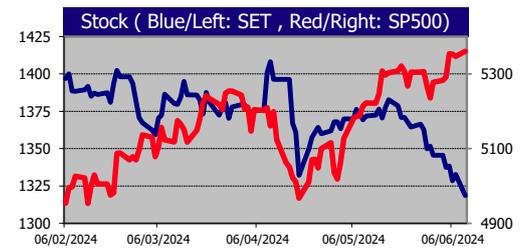
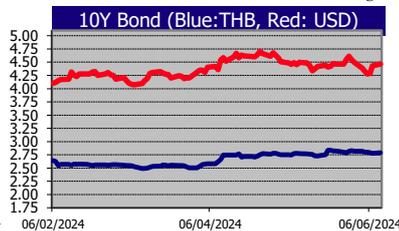
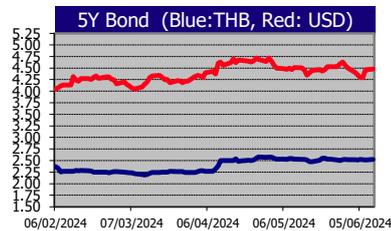
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,318.57	-14.17
NIKKEI (JP)	39,038.16	354.23
DOW (US)	38,868.04	69.05
S&P500 (US)	5,360.79	13.80
SHCOMP (CN)	3,051.28	0.00
DAX (GER)	18,494.89	-62.38

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,613)	-1116.9
Bond net flow	(1,252)	-1090.8

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは小幅に下落。オープン前、先週末の勢いを引き継ぐ格好で37パーツ手前付近まで上昇して取引を開始するも、タイ・米国の金融政策会合を控える中、更なる上値追いはならず。以降は上値重く推移。海外時間に入っても流れは変わらず、そのまま36.76レベルでクローズを迎えた。

### ●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に上昇。156円台後半の水準で取引を開始。前週末の強い雇用統計を受けたドル買い地合いが継続する中、ドル円も底堅く推移。ただ、日米中銀による金融政策会合や、米5月CPIの発表といった重要イベントを控え、157円台前半で上昇の勢いは一服。以降は156円台後半から157円ちょうど付近の狭いレンジでの推移が続き、結局157.04レベルで引けた。

## Bangkok Dealer's Eye

明日、タイ中銀(BOT)による金融政策委員会(MPC)が開催される。足もとの米国金融政策の動向や、タイ5月CPIが前年比で1.54%と同国のインフレターゲット(1-3%)内の水準まで上昇したこと等を動向すれば、政策金利は据え置かれることを想定している。市場も2.50%で変化なし、という見方が大勢を占めている状況。かかる中、重要となるのは声明文やMPC後の記者会見等からBOTのスタンスの変化がないか、ということになる。最近のBOTのMPC後に公表される声明文を見ると、タイ経済成長のドライバーとして①旺盛な民間消費、②観光セクターの回復が挙げられている。ただ、足もとのタイ国内の状況を見ると、いずれも逆風にさらされていると捉えられよう。①に関しては、4月のタイ新車販売台数がコロナ禍の2021年8月に次ぐ水準まで低下していることが確認されたし、②についてはタイ国政府観光庁が今年の観光収入について、早くも当初の目標(3兆5000億バーツ)を割り込む見通しを示している。これらの足もとの同国経済環境を受けて、タイ中銀がどのような見方を示すかは、今後の金融政策を見通す上で重要なヒントになる。また、直近のMPCでは2会合連続で金利据え置きについて、賛成5 vs 反対2という投票結果となっており、この割合に変化があるかどうか注目したいポイント。政策金利に変化がなかったとしても注目すべき点は多くあり、明日の会合はその内容を含め緊張感を持って臨みたいところ。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.